



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル 上場取引所 東証一部  
 コード番号 4694 URL http://www.bml.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 健介  
 (役職名)取締役常務執行役員 (氏名)山下 勝司 (TEL)03(3350)0111  
 問合せ先責任者 企画本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	82,589	3.8	6,885	10.5	7,168	8.8	4,271	16.2
27年3月期第3四半期	79,549	5.5	6,233	△13.2	6,587	△12.5	3,676	△14.7

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 4,574百万円(15.3%) 27年3月期第3四半期 3,967百万円(△15.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	201.11	200.44
27年3月期第3四半期	173.11	172.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	96,788	65,079	64.1
27年3月期	93,595	61,968	63.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 62,067百万円 27年3月期 59,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
28年3月期	—	30.00	—		
28年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	3.4	7,700	10.4	8,100	7.6	4,800	23.9	225.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社、除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期3Q	22,007,363株	27年3月期	22,007,363株
② 期末自己株式数	767,851株	27年3月期	767,761株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	21,239,545株	27年3月期3Q	21,238,102株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	9
販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

わが国では、急速な高齢化の進展や医療の高度化を背景に国民医療費が過去最高を更新し、今後も増加が見込まれていることから、各種の医療制度改革が実施され、医療費抑制に向けた様々な取り組みが行われております。

受託臨床検査業界におきましては、今年度は2年毎に実施されている診療報酬改定の年度にあらず、検体検査に係る保険点数(公定価格)の引き下げはなかったものの、激しい業者間競争が続いていることから、事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高82,589百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益6,885百万円(前年同期比10.5%増)、経常利益7,168百万円(前年同期比8.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,271百万円(前年同期比16.2%増)となりました。

臨床検査事業の売上が堅調に推移したことから、業者間競争による価格下落や首都圏ラボを中心とした人員・設備の増強等に伴う経費増加を吸収し、前年同期比で増収増益となりました。

以下に事業別の概況をご報告いたします。

臨床検査事業につきましては、引き続きクリニック市場の開拓強化を図るとともに、大型施設へのFMS/ブランチラボ方式(検査機器・システムなどの賃貸と運営指導/院内検査室の運営受託)による提案営業、既存ユーザーへの深耕営業を進めてまいりました。この結果、臨床検査事業の売上高は、前年同期比3.5%の増収となりました。

その他検査事業につきましては、食品衛生事業において、(株)BMLフード・サイエンスで食品衛生コンサルティング事業が順調に推移いたしました。また、新検査センターを一昨年5月に稼働させ、効率的で高品質な検査体制の構築に取り組んでおります。これらにより、売上高は前年同期比5.6%の増収となりました。

以上の結果、検査事業の売上高は78,462百万円と前期比3.6%の増収となりました。

医療情報システム事業につきましては、診療所版電子カルテ「クオリス(Qualis)」と「メディカルステーション(MS)」のラインアップにより、引き続き新規契約の獲得と既存ユーザーへのリプレースを推進し、売上高は前年同期比9.4%の増収となりました。

その他事業につきましては、(株)岡山医学検査センターの調剤薬局事業の売上が伸びたことにより、その他事業全体の売上高は前年同期比5.0%の増収となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産96,788百万円(前期末比3,193百万円増)、純資産65,079百万円(前期末比3,111百万円増)、自己資本比率64.1%(前期末比0.8%増)となっています。

主な増減項目は、資産の部では、流動資産で現金及び預金が3,651百万円増加しております。負債の部では流動負債で支払手形及び買掛金が1,119百万円増加しております。また、純資産の部では利益剰余金が2,890百万円増加しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正について

平成28年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成27年5月11日発表)	106,500	7,100	7,550	4,300	202円45銭
今回修正予想(B)	108,000	7,700	8,100	4,800	225円99銭
増減額(B-A)	1,500	600	550	500	—
増減率(%)	1.4	8.5	7.3	11.6	—
(ご参考)前期通期実績 (平成27年3月期通期)	104,404	6,974	7,527	3,874	182円45銭

## 通期業績予想修正の理由

平成28年3月期通期において、売上高は新規開拓が堅調に推移したこと等により、期初予想値を上回る見込みとなり、利益面については増収に伴う数量効果やコスト削減の進捗等により、営業利益、経常利益、親会社株式に帰属する当期純利益とも期初公表の予想値を上回る見通しとなりました。かかる状況に鑑み、平成27年5月11日に公表しました平成28年3月期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

※ 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び  
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点  
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,024	34,675
受取手形及び売掛金	18,989	20,061
商品及び製品	171	97
仕掛品	545	356
原材料及び貯蔵品	1,780	2,144
その他	2,360	1,742
貸倒引当金	△95	△89
流動資産合計	54,775	58,989
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,102	13,071
その他(純額)	15,886	15,659
有形固定資産合計	28,988	28,731
無形固定資産		
のれん	1,927	1,187
その他	2,756	2,608
無形固定資産合計	4,684	3,795
投資その他の資産		
その他	5,259	5,366
貸倒引当金	△112	△93
投資その他の資産合計	5,147	5,272
固定資産合計	38,819	37,799
資産合計	93,595	96,788
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,369	14,488
その他	11,891	10,801
流動負債合計	25,260	25,290
固定負債		
役員退職慰労引当金	159	171
退職給付に係る負債	3,304	3,381
その他	2,901	2,866
固定負債合計	6,366	6,418
負債合計	31,626	31,709

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,646	6,646
利益剰余金	46,485	49,376
自己株式	△1,243	△1,244
株主資本合計	57,934	60,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480	502
退職給付に係る調整累計額	798	740
その他の包括利益累計額合計	1,279	1,242
新株予約権	118	132
非支配株主持分	2,636	2,879
純資産合計	61,968	65,079
負債純資産合計	93,595	96,788



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	79,549	82,589
売上原価	50,750	52,810
売上総利益	28,798	29,778
販売費及び一般管理費	22,565	22,893
営業利益	6,233	6,885
営業外収益		
不動産賃貸料	47	49
その他	382	302
営業外収益合計	430	351
営業外費用		
支払利息	41	37
不動産賃貸原価	23	21
その他	11	9
営業外費用合計	76	68
経常利益	6,587	7,168
特別利益		
固定資産売却益	44	3
その他	0	-
特別利益合計	44	3
特別損失		
固定資産除却損	68	17
契約変更による精算金	316	-
その他	2	0
特別損失合計	388	18
税金等調整前四半期純利益	6,243	7,153
法人税、住民税及び事業税	1,613	2,111
法人税等調整額	676	431
法人税等合計	2,290	2,542
四半期純利益	3,952	4,611
非支配株主に帰属する四半期純利益	276	339
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,676	4,271

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	3,952	4,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	22
退職給付に係る調整額	5	△58
その他の包括利益合計	14	△36
四半期包括利益	3,967	4,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,692	4,234
非支配株主に係る四半期包括利益	275	339

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 販売の状況

検査区分		前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業 生化学的検査	31,064	39.0	34,317	41.6	10.5
	血液学的検査	6,366	8.0	7,256	8.8	14.0
	免疫学的検査	15,581	19.6	16,451	19.9	5.6
	微生物学的検査	4,435	5.6	4,543	5.5	2.4
	病理学的検査	5,420	6.8	5,689	6.9	5.0
	その他検査	9,942	12.5	7,116	8.6	△28.4
	(臨床検査事業小計)	72,810	91.5	75,375	91.3	3.5
	その他検査事業	2,923	3.7	3,086	3.7	5.6
	検査事業小計	75,733	95.2	78,462	95.0	3.6
医療情報システム事業		2,760	3.5	3,018	3.7	9.4
その他事業		1,055	1.3	1,107	1.3	5.0
合計		79,549	100.0	82,589	100.0	3.8

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 臨床検査事業のその他検査に含まれていた一部検査は、当連結会計年度より、生化学的検査等の各検査事業項目に振り分けております。